夕刊
いわき民報
発行所 平市田町63
©いわき民報社 61
社長 野沢武蔵
電話(代表)4161
振替口座(郡山)4028

定評ある呉服店
初秋のきもの
新柄商開
三井
平・三 電4824—5

生き埋め二人とも死ぬ
国道トンネル工事中に落盤
久の浜 警戒していた矢先

【金ケ沢トンネル落盤現場と救出後死亡した遠藤さん=円内=】

一日朝、双葉郡久之浜町六号国道改修の金ケ沢一号トンネル内工事現場で、鉄骨ワクの組み作業中、トンネル内で二回にわたり長さ九㍍、百立方㍍の落盤があり、作業中の十一人のうち逃げ遅れた飛島土木会社の人夫遠藤淳さん(四〇)=久之浜町金ケ沢=と加藤幸一さん(三二)=岩手県胆沢郡胆沢村若柳=の二人が下敷きとなり、救出後一人は病院で死亡、一人は死体のまま発掘されるという事故が起こった。

落盤が起きた場所は幅十㍍、高さ七・五㍍のトンネルを入口から百㍍ほど掘り進んだところ。一日午前九時十五分ごろと同四十分ごろの二回にわたって長さ九㍍、百立方㍍の土砂が崩れ落ちた。現場では落盤を防ぐために鉄ワク組みに十人が作業していたが、一度目の落盤で遠藤さんの下半身が埋まり逃げる人達が遠藤さんの回りを木ワクで囲って岩石が当たらないようにした。加藤さんはそのまま生き埋めになり、入坑していた工事用のジャンボー車(掘削車)も後ろを少しのぞかせたまま埋まり、鉄骨が十本へし折れるというものすごい事故だった。一度だけの落盤なら遠藤さんは助かったかもしれなかったが、救出作業は飛島土木から百二十八人、地元消防団二十八人で続けられ、二日午後七時十五分ごろ二人を救出したが、すでに加藤さんは死亡。まだ脈のある遠藤さんを労災病院に収容したが二日午前零時五十分ショックが原因で死亡した。

工事に当たっていた建設省磐城国道事務所や飛島土木広野出張所の話では、地盤を警戒して工事途中から全断面掘削を、より安全な方法の半断面掘削工事に切り換えて工事の安全を図り、十月末までに貫通する見通しを立てていた。というのは頁岩層で油目が大きく、水が入ると岩が大きくすべり落ちるなど危険性をふくみ、第二室戸台風以後小さな落盤が起きていた。同工事は国道六号線の改修に伴い、久之浜町から広野町まで三・五㌔の区間に金ケ沢第一、第二、未続第一、第二、夕筋と五本のトンネルが新設されのうちの一つで、六月に着工したもの。

昭和はじめ 石城の新聞界 ①

地元紙で最古の「磐城時報」は大正七年士屋寛が加納活版所を印刷所として創刊したがその病死後、印刷所主佐藤作平が継承経営した。士屋は知美と号し小柄だが、筆先きは唐辛子のようにピリッとするところがあった。変わり者で死の直前「墓は要らぬ。死体は焼いて骨は新川に捨てろ」と遺言したそうだ。しかし時の郡長佐瀬剛の揮毫による堂々たる墓石が大宝寺にそびえている。旧政友会の牙城・平銀行系だった磐城時報に対抗して創刊されたのが「磐城新聞」である。小島に居を構え、炭鉱に関係していた目黒芳次郎が社長で、実際の経営は蓮沼龍輔だった。蓮沼は新政友会系磐城銀行白井遠之、磐城実業銀行鈴木辰三郎派だった。はじめ鍛冶町の磐陽舎で印刷していたが、間もなく田町に工場を設け本社を移転した。蓮沼は炭鉱にも食い入り、県会議員となり、長いこと議長を勤めた。新聞をバックに成功した随一の人である。

◇

地元紙、最古の「磐城時報」
広告便利屋「磐城広告社」が誕生

「いはらき」宮田三郎の配下だった川崎文治が、長橋町の自宅を工場として「常磐毎日新聞」をはじめたのは、しばらく後のことだ。川崎は綾谷小波の弟子で、小鳥と号しお伽ばなしの名人だった。これらの新聞はいずれも社是をもち堂々の論陣を張っていたが、昭和十五年と記憶するが日支事変による政府(軍部)の統制で廃刊となった。それまでの間に横山顕が「磐城日日新聞」を丸山印刷所から出し、小野務平が平活版所から「いわき新報」を出したことがある。横山は鉄剣と号し鼻っぱしの強い人で、所かまわず毒舌をふるう癖があった。木村守江の医者開業祝が仁井田海岸で催された席上、例の口調で批判を展発したので、血の気の多い四倉の若者は怒り出し、海気館に招くとみせかけ、途中横川に放り込もうというわけだった。真際に察知した同僚の機転で、横山を逃がし事なきを得たが、小名浜の新米で催された小野晋平の招待宴では厄にあった。小野の悪口を言い放ったので、小野の直系が憤慨し傘骨で横山の顔面を殴りつけた。客のうちに警官もいたが、警官は後くさりを恐れたか、剣を手にして逃げてしまった。

◇

月刊、旬刊紙が多くなり、その厳しい広告募集が批判の的となった。平の某新聞社長は、広告募集の限界の度を越えて、恐喝罪で起訴された。提灯記事の礼金だと弁解したが、佐藤慶雄検事は"賞められる喜ぶどころか、ヒヤリとするのが現状だ"と論告、結局体刑を食った。この成行きに着眼したのは佐藤作平で新聞広告一切を引き受け、広告申し込みの撃退役を買って出る「磐城広告社」をつくった。広告主から金を預っておいて、広告主の希望する新聞にだけ広告を申し込み、その他は拒絶する仕組みである。まことに時宜を得た名案として、平の代表商店の加盟が相当に上ったが、他の日刊紙が猛烈に反対、広告主も威厭されて事業はオジャンになった。

(岡田四倉支局長)

勿来教育長に竹岡伝氏
きょう辞令を交付

勿来市九月定例最終市会に二十日教育長阿部忠次郎氏の任期満了に伴い、前勿来第一小学校校長竹岡伝氏(五五)を赤津市長が推せん、満場一致でこれに同意、二日竹岡新教育長に辞令を交付した。

副委員長に賀沢氏
県中少企業労運大会

福島県中小企業労運の第三回定期大会は一日午前十一時から福島市県教育会館で開き、副委員長に労働金庫平支店労組副委員長賀沢威幸治さんが選ばれた。

将棋会成績 平将棋碁楽会の月例将棋会は一日開き、七海文雄さんが優勝した。▽A組①山崎英一郎②滝口勝久③伏見茂④橋本清▽B組①七海文雄②鈴木啓③金見英司④飯塚

十月の経営改善相談員日程 平中小企業相談所経営改善普及員の十月の巡回相談日程が決まった。三日豊間、一丁目、四日飯野、二丁目、五日赤井、三丁目、六日平窪、四丁目、十日豊間、五丁目、大工町、十一日神谷、銀座通り、十二日草野、中央通り、十三日三田小路、十七日豊間、東栄会、十八日高久、才槌小路、十九日赤井、新川町、二十日仲間、腰匠、番匠、柳町、二十四日豊間、鍛治、南町、大町、仲町、二十五日夏井、旧城跡、八幡小路、久保町、胡摩沢、北目、二十六日草野、鎌田、堤ノ内、月見町、二十七日西部、三十一日豊間、一丁目

植田信用金庫十周年記念式 勿来市植田信用金庫(理事長赤津庄兵衛氏)の創立十周年記念式典は十五日午前十時から植田公民館で会員来賓臨席の下に行なわれる。

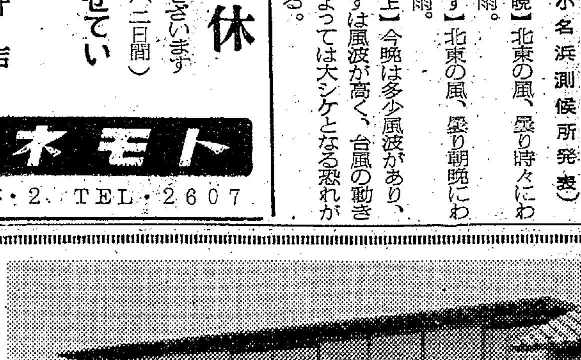
常磐の県営住宅入居者募集 常磐市は十一月に完成する県営住宅(下船尾地内)七戸の入居希望者を十六日まで申し込みを受けつけている。申し込み場所は市建設課建築係。建設される住宅は六四、三畳のもの六戸、四・五、三畳のもの一戸で、家賃は二千円前後。

本社辞令
磐城支社勤務 記者 室井照夫
いわき民報社

寸言
▼久の浜の国道トンネルに落盤、二人死ぬ。警戒してても、こんな結果なる。油断は禁物
▼平二小の梅が香新聞が日本一。よい新聞がよい校風をつくる。

天気予報 (小名浜測候所発表) 玉半提供 電五〇三二
【今晩】北東の風、曇り時々にわか雨。
【あす】北東の風、曇り朝晩にわか雨。
【海上】今晩は多少風波があり、あすは風波が高く、台風の動きによっては大シケとなる恐れがある。

4・5日は臨休
毎度お引き立てを賜わりありがとうございます
誠に勝手ながら4、5日(二日間)は従業員慰安のため休ませていただきます
株式会社 根本時計店
ネモト
平・2 TEL・2607

新築開院

施工者 山登工業株式会社
社長 山野辺倉治
平市佃町1の4 電4803

診療科目
一、小児科
一、内科
一、外科
一、整形外科
一、理療法科

内郷市御厩町折返21の1 電6761
医療法人福島アフターケアー協会
大河内病院
院長 大河内一郎

ごあいさつ
清澄の秋益々御清栄の事とお喜び申し上げます 皆様の御支援により福島整肢療護園も近く十周年を迎え漸く軌道にのりましたが これと併行して肢体不自由児アフターケアー施設の急務に迫られております ここで二十八年間の御支援を賜わりました大河内医院を閉鎖し 新たに医療法人アフターケアー協会を設立して大河内病院を開設することになり 整形外科の外に小児科・内科・外科を増科して一般診療に従事することになりました 今後とも何卒御指導御厚誼のほどお願い申し上げます

労働災害二百八十五件増える

平労基署

平労基署管内の一月から八月までの災害は死亡二十八件、休業八日以上のもの（重軽傷）二千二百二十三件の計二千二百五十一件に上り、昨年同期中の二千六十六件（死亡二十七件、重軽傷二千三十九件）に比べて二百八十五件（十三・八％）も増加している。一番多いのは鉱山関係の一千五百四十七件で、全体の六十五％を占め、昨年同期より十四・一％もふえたほか、貨物取扱事業が二十五・八％、鉱山保安法非適用事業十八・七％、建設業十七・一％、製造業十四・九％といずれも増加している。減少しているのはサービス、理、美容などの事業が二十二・七％、運輸関係が七・五％など。各業種別の災害状況は次のとおり。

▽鉱山＝死亡事故は昨年同期より一件減少しているが、重軽傷者は逆に百九十二件も多い一千五百二十五件になっている。

▽製造業＝死亡が一件減で五件だったが、重軽傷は二十八件増の二百八十件。

▽鉱山保安法非適用事業＝死亡は昨年同期にはなかったが、ことしは死亡一件を出し、重軽傷も五件増の三十七件。

▽建設業＝昨年同期五件だった死亡事故が七件に増え、重軽傷も二百四十七件から二百八十八件に増加している。

▽運輸＝昨年は死亡事故はなかったが、ことしはすでに二人が死亡している。重軽傷は四十件から三十五件と五件の減少を見せている。

▽貨物取扱業＝死亡事故なく、重軽傷は十六件増の七十八件となっている。

▽林業＝昨年同期に二件の死亡事故があったが、ことしはまだ一件も発生していないが、重軽傷は二件増の三十六件。

▽漁業＝昨年もことしも一件ずつの死亡事件と十七件ずつの重軽傷を出し、増減は見られない。

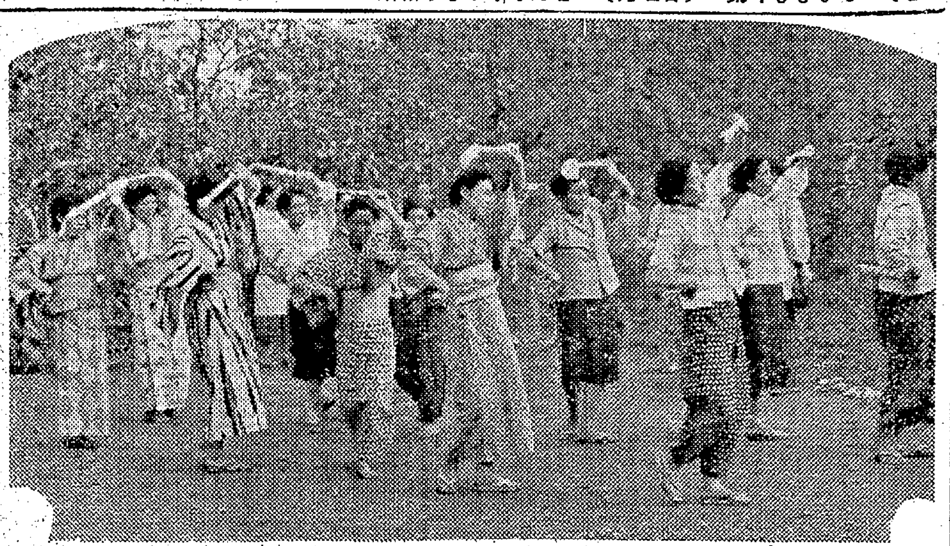
▽その他＝死亡事故は昨年ことしともなく、重軽傷は昨年の二十二件から十七件に減少した。

ふすま生産始まる

四倉製粉　需要増の家畜飼料

四倉町本町四倉製粉工場（経営者本多豊氏）はかねて農林省から"増産ふすま"の製造工場に指定されたが、施設、諸機械の取り付けが完了したので去る二十六日から本格的な生産をはじめた。"増産ふすま"というのはわが国の畜産物の需要が日に増し激増するのでその育成に備え飼料を増産する国策の線にそったもので、普通の小麦粉生産とは反対に原麦の六十％以上をふすまとして生産するものである。同工場一日の生産量は五十トンである。磐城市や勿来市にいろいろな工場誘致が叫ばれている折り、四倉町に一と足先に国策工場が建ったので、常磐地区総合開発でも大きな期待をかけている。

平市婦人民踊大会の顔ぶれ



【紅白のバチを手に踊る拍子も軽やかに】

高久婦人会

平市婦人団体連合会々長高木ツネさんを会長に、副会長箱崎カネさん、小野カネさん、猪狩フミさんの指揮下にある高久婦人会は二百二十人の会員を有し、数年前から高木会長の念願だった田舎時間追放に成功し、他婦人会の先鞭となった。高木会長は十二年間も会長の席にあり、会の運営も堂に入ったもので、会員の団結はもちろん固い。ことしは、下高久の大字単位に行なってきたハエとカの撲滅運動を婦人会で引き受け、各部落ごとに実施したため、ハエやカもぐっと減少。一カ月近く前からカヤもつらなくとも済むほどになった。来年は五月早々から計画し、完全撲滅を目標に運動を起こし、環境衛生の改善に一歩進めることにしている。また婦人会としては昨年から婦人学級活動を強化し、三、四十代の母親たちが「良い母になろう」とローマ字習字、国語などの学習に励み、こどもたちに遅れまいと努力を続けている。こども達の良き指導者となるためだ。このほか家庭生活につながる編物講習会なども実施して喜ばれている。今度平保健所から食生活改善部落として川和久が指定され、生活改善、合理化を図っており、会として力を入れている青少年の健全についても各部落単位に懇談会を開いている熱心さだ。それに四、五年前に馬場部落で実施して来た農休日（毎月五日と十五日の二回）が、今年度から下高久地区全域で実施されるようになり、五日は婦人、十五日は男の休日に制定している。

三春盆唄と上州太鼓節

「三春盆唄」「上州太鼓節」を演ずる。出演者次のとおり。

志賀トミ子、同季子、鈴木キミ子、同キクヨ、同ミヨ子、芳賀ヨシ子、矢吹ヒデ子、箱崎ヨシ子、志賀サダ、鈴木マツヨ、鵜沼キミ子

其石庵碁会　一日の月例碁会成績次のとおり。

【A組】優勝、櫛村周平、二等遠藤光三、三等、松崎盛雄

【B組】優勝、松尾升二、二等佐藤角美、三等、藤田寅雄

くらし随筆

色を着る

塩谷　敏

最近「色を着る」という言葉がつかわれている。もちろんいろいろな色を染めた衣服を、個性に合わせて上手に着こなすようにという服飾界の宣伝用語として用いられたのであるが、とにかく景気のよいのに伴ってはなやかな色彩が流行して来た。

◇

そのためかどうか、近頃は男物と女物の色調の区別がなくなって来た。東京では女物を買うつもりで入った洋品店が、男物の専門店であってびっくりしたとよく聞く。まだ和服物ではあまりそんな傾向がみられないが、ブラウス、ワイシャツ、セーター、ズボン、クツシタ等の小物類の色調の派手なのが目立って来ている。

黄色のシャツにダイダイ色のマンボズボンなどをだらしなく着込んだ人達は、いわゆる「浜のアンチャン族」らしく、教養のある男性にはあまり見かけられないのは意を強くするが、それは年し寄りの感覚かもしれない。新しい世代の人達はこれからだんだんと「色を着る」という宣伝語通り、男も女も区別のつかない色調に早晩なってゆくのではあるまいか。

◇

映画でナポレオンが真っ赤なズボンをはいているのを見たし、日本の昔でも平安時代や元禄時代などには特に派手な男姿もあることだし、今の若い男がパーマをかけようが、赤を着ようが、一向差し支えないことと思わなければ…。

とは考えても、私は教養ある男性がスッキリと色を着こなした姿に接しないかぎり、自分の息子達には絶対に着てもらいたくないと思っている。

（四倉高教諭）

商工

「玉半」で松たけ料理＝平市三田小路「玉半」では一日から松たけ料理各種をはじめた。

「久松」でおでん＝平市新田町「久松」ではおでんをはじめた。

「もつや」が五日開店＝平市白銀町世界館前にホルモン道場「もつや」が五日開店。

市況

魚類

（一日午後—二日正午）

各港ともサンマでにぎわい、小名浜にはカツオの水揚げもあった。

【小名浜港】サンマ船七隻、一本釣り船一隻、底引船一隻

▼サンマ　三十二万キロ　五一—三〇▼カツオ　一万四千キロ　八〇—一五六▼メヒカリ　百五十キロ　一〇▼イカ　百二十キロ　一一〇▼ノドグロ　八十キロ　一四〇—一七〇▼水タコ　五十キロ　六〇—一三〇▼ナメタ　四十五キロ　六〇▼ニクモチ　二十八キロ　一〇〇▼ドンコ　十七キロ　二〇〇▼ギス　十一キロ　五〇▼ヤナギ　六キロ　二五〇—一七五

【江名港】サンマ船二隻

▼サンマ　七万五千キロ　四五—四〇・四

【中之作港】サンマ船三隻

▼サンマ　九万七千キロ　四五・七—三〇・六、

野菜

▼ナルイ	六—一一	（束）
▼ホウレン草	一六—一〇	（〃）
▼ニラ	六—四	（〃）
▼ニンジン	四〇—二七	（キロ）
▼ゴボウ	二七—一〇	（〃）
▼大根	一五—一五	（〃）
▼サツマイモ	二〇—一八	（〃）
▼バレイショ	一五—一七	（〃）
▼キリイモ	六〇—四〇	（〃）
▼キュウリ	五〇—一〇	（〃）
▼ナス	二三—一五	（〃）
▼タマナ	五〇—二〇	（〃）
▼タマネギ	四〇—二五	（〃）
▼ネギ	一七—八	（〃）
▼サトイモ	二七—一〇	（〃）
▼ハクサイ	二〇—一〇	（〃）
▼ナタマメ	四〇—二〇	（〃）
▼モヤシ	二五	（〃）
▼葉ショウガ	一〇—五	（束）
▼玉子	一三—七	（コ）

果物

▼リンゴ	四〇—二〇	（キロ）
▼ナシ	五〇—二五	（〃）
▼イチジク	八〇—四〇	（〃）
▼カキ	三〇—一五	（〃）

（丸平青果市場調べ）

洋服一着で自家用車が当たる！　10月20日まで

注文服抽せん券付連合サービスセール

現金お買い上げ5,000円ごとに抽せん券一枚呈上

特賞	マツダクーペ	一台
1等	ナショナルホームステレオ	2,000本に一本
2等	ナショナルホーム電気コタツ	5本
3等	ナショナル蛍光灯スタンド	100本
4等	ミツワ石鹸3個入	2,000本

抽せん日　昭和36年10月22日

引換期限　昭和36年10月22日—11月5日まで

—技術と信用を誇る店

鈴木（義）洋服店　平市南町　電五〇〇二

直隆洋服店　平市長橋町　電六七四五

水野洋服店　平市杉平　電四八七九

先崎洋服店　平市八幡小路　電六七三六

鈴木（重）洋服店　内郷市小島町　電四三五九

布川洋服店　内郷市内町水ノ出　電四八二九

永島洋服店　平市大工町　電四六七〇

渡辺洋服店　平市大工町　電三八六九

新館開店まえの赤札大廉売

衣料品は七日から新館二階に移りますので、移転まえの手持品一掃としてただいま赤札大廉売を決行中（四日まで）

なお開店準備としまして五日と六日は、二、三、四階の衣料雑貨は休ませて頂きますが、食料品と食堂は休まず営業いたします（六日全店公休のチラシは活字の間違い）

募集　すし、中華、惣菜、洋食コック見習各一名、鮮魚部店員一名

平市　藤越

四倉　△印　花かつを

福島県四倉港　ウロコ水産株式会社加工部　電話25番

四四三一　四四三二　出前の酒喜庵

初物は少し早目なるこそ

香りを食べて腹ふくるとはおかしな事ながら　美味しいものは少し食べてもまことに結構なもの　松茸も今年は豐作もう食べ頃です

松茸ひらき　一〇〇匁　一〇〇円

松茸つぼみ　一〇〇匁　一五〇円

日替わり一点サービス

煮豆　四〇〇匁　五〇円

サカイ食品店　平・1　電3336

日本一の「梅が香新聞」
二度目の文部大臣賞
平二小 カベ新聞から成長し

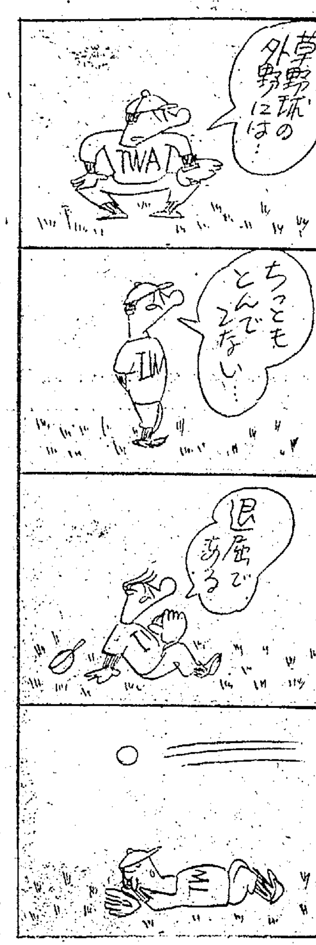
☆第十一回全日本学校新聞コンクールで平二小の「梅が香新聞」が文部大臣奨励賞(推せん)、平一小の「ポプラ」が佳作にそれぞれ入賞した。とくに梅が香新聞は昭和三十二年に全国二位に入賞以来、五年連続入賞の記録を樹立、大臣賞は三十四年度とこんどの二回という日本一の小学校新聞の実力と権威を遺憾なく発揮した。☆

生まれて10年 年六回 タブ六頁

平二小の梅が香新聞は湯山啓二校長が着任した昭和二十六年から発刊、ことしで創刊十周年を迎える。始めはカベ新聞的なものだったが四年以上の各学級ごとに学級新聞を作るようになって、横の連絡が近密になり、全校的な梅が香新聞がガッチリと盛り上がって来たもの。それまでは購読料をとっていたのが三十二年度に全国二位に入賞以来、父兄が熱心に支援して今では千五百部を年六回、無償配布している文字通り全校児童と、学校―家庭を結ぶ大新聞に成長した。指導教諭は阿部良全、菅本孝子の二教諭。とくに阿部教諭は小川小学校下小川分校当時、家庭と学校を連絡するため学校新聞を計画、創刊した経験の持ち主で、その指導が大きく役立っている。しかし部員は六年生国玉淑明君を部長に四年以上の各学級から選ばれた十七人で新聞を構成、取材係は全員で、整理係七、編集係八、配布係二を分担。各号発刊後の反省会で次号の企画を相談していく。

こんど文部大臣賞をうけたのは第八十八号九月二十日発刊のタブロイド六ページ。謄写五色刷り。トップは夏休みのおこづかいアンケート、三面トップは警備員インタビュー、大きくなったらなるなど、児童のためになる記事、関心の多い記事がギッシリつまり、五、六ページは低学年用にわかりやすい記事整理をするなど努力のあとがうかがわれ、「学校生活を正しくみつめ、明るく楽しい校風をつくるため」を目標に明るい新聞づくりを続けている。

【(上)日本一入賞を喜ぶ平二小新聞部員と(下)入賞88号の梅が香新聞】



バイクはね蛭田川橋に衝突
車は大破、同乗者がケガ

一日午後二時五分ころ日立市助川二二二六、手塚睦夫(三七)は小型乗用車の助手台に同市小木津町根本弘子さん(二三)をのせて常磐市から日立市に帰る途中、六十キロの速度で勿来市錦町四堰国道(県羽化成入口)に差しかかった際、前からバイクを運転して来た田人村字横川、石川松治さん(五四)が一時停車して右折徐行したのをはね飛ばし乗用車は勢いあまってコンクリートの蛭田川橋に衝突して停った。このため助手台にのっていた弘子さんは顔に三週間のケガ、前車体は大破、損害十万円。バイクの石川さんは異常なかった。原因は乗用車のスピード違反。

温泉治療から職業指導まで
アフターケア協会 大河内病院が店開き

福島整肢療護園の延長療治設備として期待されて新設された内郷市御厩町折返(ヘルスセンター東隣り)の福島アフターケア協会大河内病院がきょう二日開院した。大河内一郎博士が私財を投じ千五百万円で着工した延べ面積九百平方メートル、四十床の規模に、大河内院長ら医師四人、理療師一人を含む従業員三十人の陣容。とくに注目されるのはし体不自由児、初めてといわれる脳性小児マヒ児童に対する居宅、通院療育指導と更生指導援護を目的としている。

きょう二日は開院早々、患者が詰めかけ広い病院待合室は満員。早速外来用の温泉で児童を入浴治療するほか、入院用温泉(男女各一)でも隣りのヘルスセンター同様フンダンに出る温泉に子供を入れて温泉治療を始めた。

大河内博士の話では、才槙小路の旧医院は十八歳以上になって療護園を出なければならないし体不自由者の職業指導のため洋裁、印刷などの仕事を教え、社会人として立っていけるよう最後まで面倒を見るという日本で最も少ない、し体不自由児の治療から自活の道まで開拓する病院として活躍することになった。

大河内病院の温泉治療浴槽

柔剣道とも四倉中学校優勝
平で百三十人が参加

平署、平地区防犯団体連合会など共催の少年柔剣道大会は十月一日午前九時から平商体育館で平署管内の小、中、高校生百三十人が参加して開かれ、力いっぱいの熱戦を展開、汗だくの奮闘ぶりだった。高校の部では磐高が、中学校の部では四倉中がそれぞれ柔剣道とも優勝した。小学生については全員に優秀賞を贈って激励した。成績次のとおり。

【柔道】◇高校の部▽団体=❶磐高❷平工❸平商
▽個人=❶菅波威(磐高)❷新妻公夫(四倉高)❸折原安二(同)❹小泉正彦(同)
◇中学校の部▽団体=❶四倉❷平一中❸平三中
▽個人=❶小田守司(四倉)❷鈴木頼忠(平一中)❸菅波厚(四倉)❹坪井信行(好間)

【剣道】◇高校▽団体=❶磐高❷平商❸平工
▽個人=小野武(平工)❷吉田広司(平商)❸斎藤信重(磐高)❹大津国泰(平工)
◇中学校▽団体=❶四倉❷平一中❸沢渡
▽個人=❶木村博美(沢渡)❶中野あき正(四倉)❸林秋伊(平二)❹相田由勝(平一)

【力闘する中学生の柔道試合】

疑似赤痢

平市長橋町一七、深谷茂さん(四三)は疑似赤痢で二日隔離された。

第四分団が市長賞を獲得
内郷消防野球

第五回内郷市消防団分団対抗親善野球大会は一日午前八時半から金坂グランドに十一チームが参加して開かれ、第四分団が市長寄贈のカップを獲得した。戦績は次のとおり。

▽準決勝
第四分団5―2本部
第二分団7―0第七分団
▽決勝
第四分団6A―5第二分団

長橋が二連勝
平市青年野球

第二回平市青年野球大会は三十、一の両日にわたり十一チームが参加して開き、長橋町チームが二年連続優勝した。

▽準決勝
豊間4―3中央
長橋9―1赤井
▽決勝

豊間	0	0	0	0	0	0	0	0
長橋	2	0	0	0	0	0	0	2

▽殊勲賞(長橋)鈴木成実
▽敢闘賞(豊間)四家敬助

民踊講習会

平民踊愛好会の定例民踊講習会は七日午後六時から石島公民館で開く。講師は国井時雄氏。

遠藤選手(小名)が走り高に優勝
県高校陸上

第一回県高校陸上競技新人大会は一日午前十時から郡山市開成山競技場で開き、石城勢は男子百メートルに小名高香川選手が三位、女子で小名浜高遠藤弘子選手が走り高跳に1メートル35をとび優勝した。

真剣に増産活用を研究発表
丸平青果生産協力会

平市丸平青果市場生産協力会(鈴木辰一会長、三百五十人)の農業経営技術研究発表会は二日午前十時半から内郷ヘルスセンターで開き、次の五氏がそれぞれ研究発表して今後の農業経営の行き方に強い感銘を与えた。

▽「簡易ビニールハウスの野菜早出し」山本義春(夏井)▽「酪農経営について」鈴木元彦(夏井)▽「有利なカブ栽培」田中重代(高久)▽「水田二毛作のじゃが芋」箱崎昭(下高久)▽「野菜クズを巧みに利用した養豚飼育」舞田光平(上平窪)

新聞は政治と家庭をつなぐ橋
14回新聞週間標語

弊社事務員故佐藤哲也葬送の際は御多忙中のところ遠路態々御会葬下され且つ御丁重な御香料を賜わり御芳情誠にありがとうございました 略儀ながら紙上をもってお礼申し上げます
昭和三十六年十月二日
磐城市船引場四三の三三
株式会社 山口鉄工所
葬儀委員長 山口鹿重郎
副 〃 大次力

暖冷の差
のはげしいとき
カゼが流行します
カゼと手当てのくすりは
あこう
平・きんざ 電二〇四四

十月の試験は 9日から

試験車と同じ
セドリック 61年型
トヨペットクラウン 61年型
スバル 61年型
取り揃えてあります
写真撮影設備あり(翌日仕上げ)
平自動車練習所
平市尼子橋際 TEL・6429

鳥料理 ちゃぼ

鍋もの始めました
特製博多水たき スープ煮
たたきなべ とりもつすきやき
"鳥釜めし 鳥ぞうすい 鳥ぞうに"
▽なお丼ものは従来通りです
▽出前も致しております

ふとんの大河原
平・ひかり座前 でんわ四六八二

ジンギスカン鍋
御一人前…百両
電話〇六七(代)三一六五

内科 外科 産婦人科 放射線科
入院 随意
前田医院
院長 前田清美
副院長 前田春雄
勿来市植田町 電一三四

NHK 第一 2日 1040KC

6・05 劇「そのいすにすわれ」⑪
12 「あしながおじさん」
7・15 きょうの国会
30 三つの歌（青梅市多摩高校講堂で収録）司会宮田輝アナ　ピアノ天池真佐雄
8・00 お父さんはお人好し　花菱アチャコ　浪花千栄子
30 私は誰でしょう　司会木村和美アナ
9・10 ニュース解説藤瀬五郎
25 歌謡浪曲「ひえつき節物語」①天津羽衣◇歌淡谷のり子◇劇「唐人お吉」①
10・10 録音「流れ出した愛知用水」
30 日本をむすぶ「社会人スポーツの悩み」川本信正
11・10 内部調整つづく　中共　土井章
30 「事件記者ものがたり」

NHK 第二 1540KC

6・20 工業教室「切削工具」高村正一
35 「品質保証のすすめ」
50 そろばん教室
7・15 英会話
30 婦人学級「質問に答えて」三井為次　姫浦陽子
8・00 イタリア歌劇特別公演「リゴレット」（ベルディ）ジャンニ・ポッジ　アルド　プロッティ　ガブリエルラ・トゥッチ　パオロ・ワシントン　アンナ・ディスタジオ　松内和子他二期会合唱団　藤原歌劇団合唱部
10・15 高校初級「英語」
35 中級「数学」
55 上級「国語」
11・20 ドイツ語初級　藤田五郎
35 音楽鑑賞「バレエ音楽の歴史」対談芦原英了　三善晃

ラジオ福島 800KC

6・00 ジャジャ馬くん▽アッちゃん▽音楽の小箱▽奥様ごぞんじですか
7・10 録音ニュース
15 魅惑のミュージカル「私と一緒にいらっしゃい」「貴方は私をときめかす」
30 歌謡パラダイス　江利チエミ
8・00 甚兵衛アワー「はだか大名」⑬大谷友右衛門　水戸光子
30 キンカンスピードクイズお早くどうぞ　桂米丸　若水ヤエ子
9・00 芸能山口ガーデン
30 私はトップレディー
45 愛の渦潮185回
10・05 連続浪曲「裴恋道中」
30 夢のハーモニー
11・05 連続放送劇　宮本武蔵
20 わたしの選曲▽お休みの前に

テレビ NHK

6・00 進め！ヒデヨシくん　島米八
30 みんなのうた　ボニージャックス
35 黒百合城の兄弟
7・15 バス通り裏　小栗一也　武内文平　十朱幸代　鰐原千草
30 私の秘密　渡辺紳一郎　藤原あき　藤浦洸
8・00 歌の広場❶小雨降る道❷林の中の散歩道❸山のロザリア❹君恋し❺夜霧降る街
30 青年「あかつき」戸田皓之　柳永二郎
9・00 上方劇場「おっと失礼」困ったプロポーズの巻　花菱アチャコ　浪花千栄子　横山エンタツ
30 きょうのニュース▽スポーツニュース▽海外フラッシュ
10・00 世紀の記録「第二次世界大戦」パリ解放
30 ニュースの焦点
45 あすへの歩み「老人に幸福を」老人と職業

講堂いっぱいに文化祭　内郷一中

内郷一中（校長頼谷亀寿氏）の第九回文化祭は一日午前九時から同校の講堂を中心ににぎやかに開かれた。各教室には図画、習字、手芸、職業、家庭、理科、社会、華道など一年から三年生までの作品が展示され、父兄達を喜ばせた。講堂では英語劇、合唱、ダンスなど十五種目が披露され、グランドでは模型飛行機大会が行なわれるなど盛況だった。【展示された職業家庭クラブの着物類】

民報映画案内

※【平市】3日まで
★世界館（六・五六）小太刀を使う女（八・三〇）雑婚時代
★平東映（七・〇九）2千万円の腕（八・二九）やくざ姫（6日まで）
★平館（六・五〇）白い雲と少女（八・二〇）あいつと私
★東宝民劇（五・〇〇）出世コースに進路をとれ（六・三〇）福の神サザエさん一家（八・二〇）東から来た男
★平ニュー東映（七・三〇）べっぴんさんに御用心（八・四〇）故郷は緑なりき
★三夜東映（六・三三）八州血煙り笠（七・五三）高速三号線を張れ（八・五三）さいころ奉行
★平松竹（七・一〇）寛美の三等社員（八・三九）河口
★ひかり座（六・五〇）第八高地突撃隊（八・三五）虐殺！ハックの猛襲（2日まで）
★聚楽館（六・三〇）ララミー砦（八・〇五）片目のジャック（9日まで）
☆世界館（一〇・一〇）王者の剣（ナイトショウ）（3日まで）

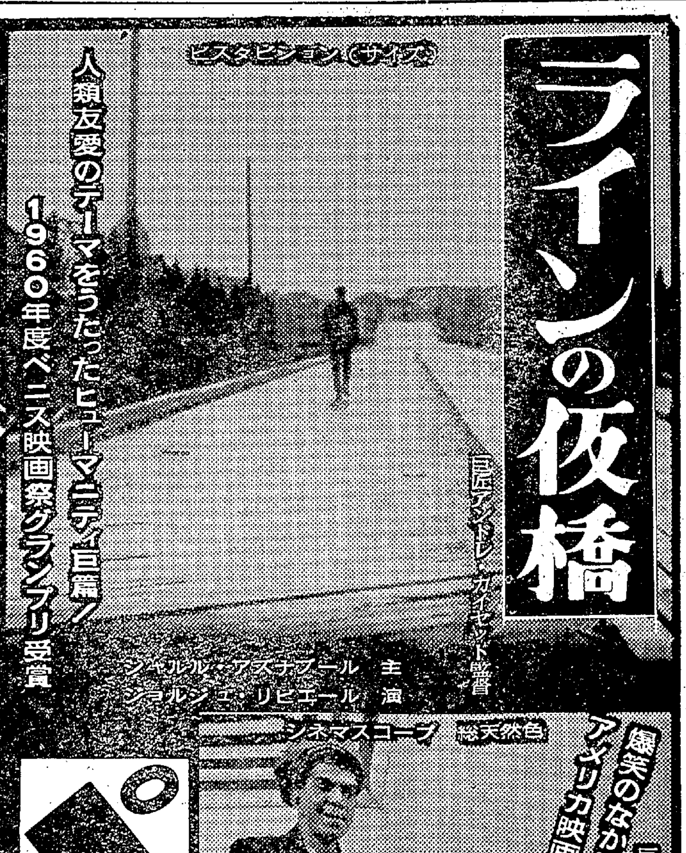
※【内郷市】
★綴映劇　女の橋　恋をするより得をしろ　続・次郎長社長と石松社員（3日まで）
★第二イワキ　夕やけこやけの赤とんぼ　安寿と厨子王丸　さいころ奉行
※【常磐市湯本】3日まで
★湯本座　顔役晩に死す　黒い画集・ある遭難　七人の侍
★三國座　おてもやん　女房学校　好人好日
★常磐座　幻燈館の女　赤い谷の惨劇　逆襲天の橋立
★常磐日活　あいつと私　大人と子供のあいのこだい　恋をするより得をしろ
※【磐城市小名浜】3日まで
★国際　駅前団地　水戸黄門海を渡る　おてもやん
☆磐城座　ノサップの銃　紅の拳銃　男にゃ男の夢がある
☆金星座　秀才はんと鈍才どん　モーガン警部と謎の男　心臓破りの野郎ども
★銀星座　荒野の待伏せ　不沈母艦サラトガ　殺人鬼登場（2日まで）
★東映　モーガン警部と謎の男　七人の騎士　遥かなる母の顔
★地球座　新吾十番勝負　地雷火組二部　お嬢吉三
※【勿来市植田】3日まで
★菊多館（夜六・二〇）皮ジャンブルース　荒原牧場の決斗　謎の七色御殿
★うえた館（夜六・二〇）太陽海を染める時　わんぱく公子　ヨットとお転婆野郎
★中央館（夜六・二〇）妻として女として　社長道中記　姉さん女房
★植田ロマンス（夜六・二〇）十戒
※【四倉町】2日まで
★四倉国際　夜霧の長脇差　男の地平線　霧丸霧がくれ
☆四倉文化　鉄火場の風　抜き射ちの竜　赤い夕陽の渡り鳥

100貨店

平二小の梅が香新聞が、全日本の学校新聞コンクールで文部大臣賞を受け、文字通り日本一の栄冠を獲得した。タブロイド（本紙と同じ大きさ）六頁、謄写版で印刷した、五色刷りのきれいなもの。「明るい楽しい校風」を生みだす目標のもとにつくられた、みやすい、よく神経のゆきとどいた新聞である。担当の阿部教諭が、とくにベテランで、学校と家庭を結びつける上に実に大切な役割を果たしている。もとはカベ新聞程度のものだったが、十年の間に連続五度入賞するというりっぱな新聞に生まれかわった。熱の入れようで、良くも悪くもなるのが新聞である。新聞は、新聞部でつくるものだが、新聞部だけの好き勝手な紙面では、いつか読者がついてこなくなるということ、みんなと一緒につくるという心がけが肝心。どんなりっぱな新聞でも、読者が待ち遠しいくらいに読んでくれなくてはならない。学校新聞は、いわば学校の顔をみるのと同じ。各校新聞部とも、入賞はともあれ、よい新聞づくりに努めて頂きたい。（龍人）

（代理店　又は人）
学研エーゼント　急募
学研の教育出版物　器具類の家庭職域販売者（又は店）
平　常磐　内郷　勿来　磐城各市居住者（又は店）に限る
資本金不要　学歴経験を問わず年令25才以上　60才未満の方
至急履歴書送付を乞う
履歴書送り先　福島市万世町十七　電（福島）二ノ局六五一三
学習研究社
問い合わせ先　平市6の1　学研直配部

出前　レストラン　カイカ　電二三五〇・五四六七
うちわ　カレンダー　広告マッチ　平市大町　嘉見家　電五四六九
御婚礼写真は　舘林　平・公園下　電三三九六
甘太郎　平・ぎんざ　電4025
若びな料理の店　つるや　平・聚楽館通り　でんわ三三六〇
文具のナガノ
旅館　蓬山荘（よもやまそう）　平市鎌田山（平神橋先き）　電話二五八三



10月3日から9日まで特別興行　ひかり座

4日（水）夜8時から　東宝
特別有料試写会
見よ！地球最後の日！
世界大戦争
東宝民劇　TEL 3822

女店員　数名　募集
本給・歩合・その他あり　通勤住み込み自由
宿舎の設備あり　委細面談
パープロシード　平市新田町通り

調理　場下働きさん▽女子▽40才位まで▽通勤▽委細面談　平市ひかり座前通二九九〇レストランブラジル
貸間　▽教室あり▽下宿も可▽通勤の便よし▽平市月見町五九片倉製糸北うら高野キヨ電六七四九
赤巴　▽アカトモエ質店▽平市四丁目平郵便局前通り入る　新規の方も大歓迎いたしております▽お気軽にどうぞ

COMMERCIAL ART
美術看板・展示装飾・造型・図案
松下電器産業株式会社福島県広告代行店
有限会社　クロネコ広告社
本社　郡山市神明町　TEL・1242
出張所　平市鎌田町56